

伝統的建築物を生かした景観保全 甲州民家情報館の利活用



NPO 法人 山梨家並保存会

1

1. まちなみ景観の保全

登録有形文化財制度の活用



甲州市塩山松里 笛吹川芸術文庫（2005年3月 再生工事完了）



甲州市塩山 中央通り商店街 飯島邸長屋門



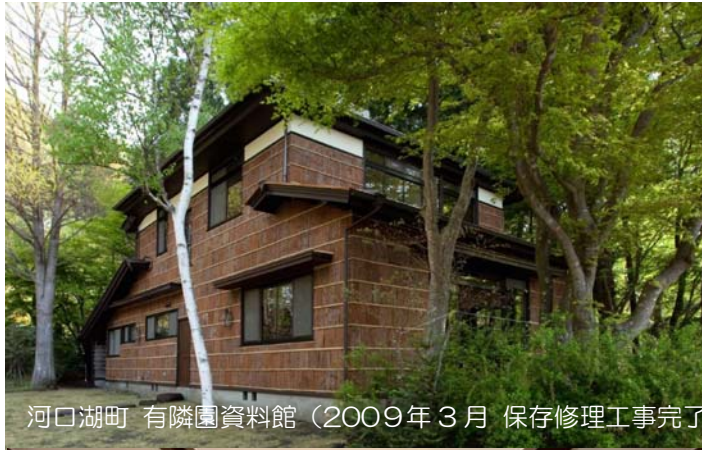
2



登録文化財申請のための建物調査
工学院大学 後藤研究室の協力による

1. まちなみ景観の保全

登録有形文化財制度の活用



河口湖町 有隣園資料館（2009年3月 保存修理工事完了）



中央市 双葉屋酒造



3



甲州市塩山 塩山シネマ

2. 民家再生事例

山梨県建築文化賞 奨励賞受賞



辻家住宅（平成4年 受賞）



藤原家住宅（平成10年 受賞）



ハラモ園（平成12年 受賞）



杉原家住宅（平成13年 受賞）



白州の家（平成16年 受賞）



河村家住宅（平成23年 受賞）

3. 新築住宅の景観配慮

伝統的な切妻デザインの新甲州民家



5

3. 新築住宅の景観配慮

地域の伝統的な民家形式を継承

新築した甲州民家



甘草屋敷・代表的な甲州民家（重文）



6

4. 甲州民家情報館の概要

甲州民家情報館の建つ上条集落
甲州市塩山下小田原



7

4. 甲州民家情報館の概要

甲州民家情報館の建つ上条集落
甲州市塩山下小田原



上条集落



観音堂と一木百観音像 (市文化財)



金井加里神社本殿 (県文化財)

甘草屋敷・代表的な甲州民家 (重文)



百体仏
(市文化財・福蔵院)

8

4. 甲州民家情報館の概要

施設名：甲州民家情報館

目的：建物1棟貸し（個人、団体問わず）

体験宿泊、イベント・研修会場、施設及び集落見学など

管理運営：NPO 法人山梨家並保存会

維持管理運営費：施設利用料、市助成金



9

5. 情報館の整備にあたり

整備体制

整備費用：地域住宅モデル普及推進事業（国交省補助金）

基本設計、整備監修：工学院大学 後藤治 教授

基本理念

- 地域の歴史的景観の保全とその推進に寄与できるものであること
- まちづくりの気運の高揚に繋がるものであること

10

6. 情報館の整備にあたり配慮した点

景観に配慮した点

- ①地域の伝統的な景観に合わせること
- ②建物の外観を損ねない改修手法の提案

アトラクション要素

- ①整備ボランティア、ワークショップ
- ②昔の暮らしを体験できること

11

6. 情報館の整備にあたり配慮した点

景観に配慮した点

- ①地域の伝統的な景観に合わせる



現地で当初の痕跡確認



上条集落の甲州民家

検討



模型を作って検討



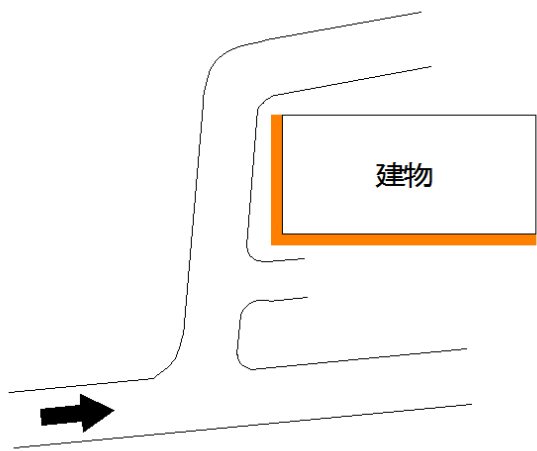
12

6. 情報館の整備にあたり配慮した点

景観に配慮した点

②建物の外観を損ねない改修手法の提案

—建物の正面性—



建物の正面性



正面2面（外観に配慮する）



裏面2面（外観に配慮しない）

13

6. 情報館の整備にあたり配慮した点

景観に配慮した点

②建物の外観を損ねない改修手法の提案

—正面につき配慮したこと—



木製建具の内側にアルミサッシ
気密性を保ちつつ周囲の景観に配慮した



正面外観
アルミサッシが外部から見えない



裏面外観
アルミサッシが外部から見える

14

6. 情報館の整備にあたり配慮した点

アトラクション要素

①整備ボランティア、ワークショップ



15

6. 情報館の整備にあたり配慮した点

アトラクション要素

②昔の暮らしを体験できること



ト冬集落



7. 情報館の運営状況

オープン：平成22年4月

利用者数：平成22年度 176人（内 団体利用 9団体 111人）

平成23年度 205人（内 団体利用 4団体 63人）

平成24年度 134人（内 団体利用 3団体 30人）

利用者地域：県内 約3割 県外 約7割（東京、横浜、神奈川など）

利用者年代：20代～30代 約7割

40代～50代 約3割

利用の多い時期：8月 約3割

10月 約3割

17

7. 情報館の運営状況



18

8. 甲州民家情報館の整備利活用の成果

地域住民を対象にした伝建地区の勉強会

主催：甲州市教育委員会

場所：甲州民家情報館

講師：工学院大学 後藤治 教授

マヌ都市建築 三浦拓也 様



19

8. 甲州民家情報館の整備利活用の成果

地域住民を対象にした伝建地区の勉強会

主催：甲州市教育委員会

場所：川崎市立日本民家園



20

8. 甲州民家情報館の整備利活用の成果

上条集落の山梨県知事視察



21

8. 甲州民家情報館の整備利活用の成果



22

9. 現在



23

9. 現在



24